

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）10

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43785

195

28

2
4
8
1

(
+
-
+
-
)

2. アイチ大臣記者会見

(11/12日、総理、マイヤー大使会談後)

(大臣) 「総理、マイヤー大使会談は4時半から7時間足らず行なわれた。(外務大臣、トウゴウ局長、アカタニ審議官、チベ北米課長、同席)内容的には何もなかった。

マイヤー大使から、「御出発も近づいたがニクソン大統領



領としてはたのしみにして総理をお待ち申し上げており、従つて心置きなく立派なトップ会談をおやりいただきたい。双方満足のゆくように会談ができるようお互いに努力しましょう。」と正式なものとしてはそれだけであつた。

また私に対しては、國務長官と3回も会談をやられ、その後自分が命令をうけ何回となく会談をしていただく等非常によく準備をしてもらつたことに対し自分としても感謝し本国政府もアブリシエートしていると言つていた。」

(問) 「時間が長かつたのはどういふことか」

(大臣) 「長いようでも突のある話はあまりなかつた。ワシントンでの会談の日程等は既にきまつている。まあ、ご承知のような点が残つてトップ会談に入るといふこととで、今後ワシントンに行くまでは、日米交渉の関係では新しい情報とか訓令とか新しい発展はなくなつた。トップ会談でワン・パッケージでやることになつたわけで、総理にふん関してもらい、私も大いにチエをしぼらなければならぬ。」

(問) 「核問題について総理から何か言われたか」

(大臣) 「核問題に限らず、日本側の主張は、こちらからくり返しくり返し述べておりマイヤー大使もそれを承知している。ただマイヤー大使は、「初めは、そんなに時間を要しないで予備的な準備はできると思つていたが、それはけいそつな見通してあつた。両国にとつて本当に難しい問題でしたね。」と言つていた。」

アメリカ局長
参事官
北米一課長

大臣秘書官	事務次官	官房長	情文局長
	外務審議官	官房総務係長	参事官
	外務審議官	官房書記官	報道課長
			国内広報課長 海外広報課長

外務大臣記者会見記録 (11月11日午後)
5:40-6:00
(総理、マイヤ-大使会談後)

ア
リ
カ
局
長
の
一
日
記

大臣「総理、マイヤ-大使会談は4時半

から1時間足らずに行なわれた。(外務大臣

東御局長、赤谷審議官、北米一課長同席)

内容的には何もなかった。

マイヤ-大使から、御出立も近かったが

ニフソン大統領は、^{として}翌日にして総理を

お待たせ申し上げておき、従ってご置き

なく直ちにトップ会談をおやりいたさない。

双方満足ゆくように会談ができるよう

互いに努力をします。正式なもの

としてはそれだけであった。

長私に対しては、國務長官と三回も会

談をやらせ、その後自分や命令も受けて何回

こなく会談をして... ~~た~~ ~~く~~ 等非常

により準備をしておられたことに対し自分

としても感謝し、本国政府もアグリエートし

て... と言っていました。

問「時間が長かったのはどういふことか」

大臣「長... 上って実のある話はある

な... 7シートで、会談の日程等は既に

きまってる。まあ、ご承知のような事だ残

ってトップ会談に入るといふことで、今後ワ

シントンに行くまでは、日本交渉の周縁では

新しい情報とか訓令とか新しい答復はなく

な... トップ会談でワンパッケージで

やることになったわけ、総理に奪回

してもら... 私と大... にイエをしまら

な... は「ならぬ...」

問「核問題について総理から何が云われたか」

大臣「核問題に限らず、日本側の主張は、こちら

から繰返し繰返し述べてあり、マイヤ大使

もそれを承知している。た、マイヤ大使は

「~~核~~初めは、それ以上に時間を要しないので予備

的な準備はできると思っていたが、それ

は軽率な見透りであった。~~問題~~は兩國

にとって本当に難しい問題であった。」

と言った。」

極 秘
無 期 限
部の内
号

大臣	参局长	PMO局長
次官	参官	参事官
参事官	参事官	参事官

佐藤總理、大隈大臣公使
44.11.11
大隈大臣

本11日午後(16:30頃)の公使概平
次のとおり。
(出席: 参事官、参事官、^{東郷}PMO局長、参事
官(正副)、大隈大臣、小松参事官、
大隈大臣、大隈公使、マコニール参事官)

(参事官大隈大臣の出席・日程は上下関係
線を以てあり、準備交渉は大隈大臣の
12日午前・精力的に行なわれ、極秘で存用あり
と(参事官大隈大臣)発言)

大臣: 本12日の大隈大臣決裁の公使に
臨み、参事官大隈大臣の公使の公使との

2
訓電接収、大隈と驚くような内容で在り
が、以下報告を御説明した。有る
文書に(大隈)を差し上り。 (注: 別添英文)

1. 大隈大臣は参事官 御参訪を心待ちに
あり、両日の参訪の内容、特に参事官
の検討が双方の参訪と信じている。
2. 参事官の参訪は 参事官の参訪・在参事
官の参訪の参事官に参事官の参訪に
参事官の参訪の参事官に参事官の参訪に
参事官の参訪の参事官に参事官の参訪に
3. 参事官の参訪の参事官に参事官の参訪に
参事官の参訪の参事官に参事官の参訪に

参事官の参訪の参事官に参事官の参訪に
参事官の参訪の参事官に参事官の参訪に

総理：(他発言後) 概の構想は「貯蔵」と同義
 語であらう。いつまでか話し合えるか？ 合計
 加算原則 (22) を作るに、二水と小のかがあり
 方法は伸と無しのでは？ 最終と出た
 のは共同問題か — 誰と相談せよ？ 他人と
 するに、本国の大臣の話し合ひであり、外
 務大臣と相談に任せて作る。二水
 想像の外の問題ではある...

大臣： 概は 2-3 案あり。
 先般愛知大臣の共同声明案は 7112
 問題
 今までの協定、合意した 2 案、67112 のみ
 に限定したい。そのお話しがあったか、本国
 本国政府より単一問題に限定される
 聖蹟、早稲等を含む、多通常の形式の

共同声明の望む旨案文(これは日有例に改め
 ず)と共に訓令を提出した。本件は二
 水(東洋局長、2+60 公理ハルに協定
 に望む)と概に好い内容ではあるかと
 思われる。(尤も織維は一寸別な) 早稲
 に 7112 戦略兵器制限条約の定型的 (standard)
 の文言を各人が入るは如何。
 外務大臣： (米軍に) NPT は 0. 色々 入ったか、2 案
 の方とその他一般に分けた、2 案連の共同
 声明とした如何。或は 75-1 は joint
 press release の形とする案あり。
 大臣： 2 案連の文言を最後の項目とに分けて
 するか、案を別にするか。
 総理： NPT に入れるのは好い。(東洋局長：
 案をどうに入れたらいいか。)

外務大臣: 国内側が自主的に方針を率領してある。
大臣: 国内側が対応しているが、協定がない。

外務大臣: NPT以外は七山程困難ではあるが、
東部部長: 経済問題もある。

総理: 経済問題は抽象的であるが、
右が今後日本が東部部長の方向に緊張

緩和がある。(二ヶ)
表裏に書く必要はないが、
声明書の中身がどうかは、緊張緩和

とは方向が違ふ様だ。書かなくてはならぬが、
書かない方がよくないか?

大臣: ちと協定致したい。本国は何かの言葉
がほしい様だ。前日の共同声明は、

欠けていたと注意を要する。
総理: 中身の反省を求め、
と、
と、

大臣: 七ヶは良い論文である。
外務大臣: 概していい、米側側面を心配して

問題は、当面と当面の理解(2113)が
であり、その中に含まれたセリヤの言葉(2113)

が、
1137である。大臣と「不」公使もよく

御理解のことは思いますが、ワシントン説程に
助力願っています。

大臣: 大臣の言葉には多大の考慮がなされている
ことは本國にも言っているが、全く

通って来ている。興味ある形式(interesting
form)だが、米側とっては問題である。

(先月までの)ワシントン説程は「総合的
姿勢は抑止力の心理面の維持で、
抑止力の如何なる要素を減退して、

印紙を~~す~~てはな~~ら~~ない、と~~す~~る。
-11月21日 - 殿に~~概~~概況と~~に~~頂~~上~~な~~ら~~ぬ

在~~神~~化学兵器撤去を~~急~~急~~に~~お~~し~~、~~実~~実施
に向~~つ~~て努力~~し~~て~~お~~たが、~~目~~下~~に~~在~~る~~内~~部~~に

~~除~~除~~去~~し~~て~~お~~く~~る~~に~~お~~き~~、~~印~~印~~紙~~米~~国~~在~~法~~法~~律~~に~~特~~特~~に~~
か~~る~~程~~度~~の~~案~~案件~~に~~は~~敏~~敏感~~で~~お~~く~~、~~概~~概~~況~~と

CBR兵器の撤去には~~法~~法~~律~~に~~特~~特別~~の~~取
り~~決~~決~~め~~が~~必~~必~~要~~と~~す~~る。既~~に~~に~~撤~~撤~~去~~を~~開~~開~~始~~し

た。この撤去作業開始は~~敵~~敵~~軍~~軍~~の~~御~~訪~~訪
米~~国~~後~~方~~ (定~~期~~に~~お~~お~~き~~に~~合~~合理的~~な~~期~~限~~必~~要~~) ~~を~~要~~す~~
(期~~限~~2015)

と~~い~~い~~地~~地~~然~~然~~で~~お~~く~~る。
敵~~軍~~軍: 公~~明~~明~~党~~党の~~策~~策~~案~~案~~基~~基~~地~~地~~実~~実~~態~~態~~調~~調~~査~~査~~に~~お~~き~~に
「~~変~~変~~化~~化~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に~~ス~~ス~~イ~~イ~~行~~行~~政~~政~~に~~は~~捕~~捕~~ら~~ぬ~~と~~す~~る~~」

懐~~疑~~疑~~心~~心~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に、~~策~~策~~案~~案~~が~~お~~く~~る~~に~~
お~~き~~に、~~と~~か「~~X~~X-~~2~~2~~B~~B~~は~~は~~ど~~ど~~う~~う~~の~~方~~向~~向~~に~~は~~向~~向~~い~~て

113, ~~有~~有~~り~~と~~す~~る。創~~設~~設~~学~~学~~会~~会~~の~~情~~報~~報~~を~~お~~き~~に
大~~体~~体: 「~~友~~友~~好~~好~~人~~人~~士~~士、~~と~~い~~う~~に~~お~~お~~き~~に~~中~~中~~立~~立~~心~~心~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に

許~~可~~可~~を~~お~~こ~~す、~~其~~其~~の~~結~~果~~果~~が~~二~~の~~標~~本~~本~~と~~す~~る~~。
敵~~軍~~軍: 政~~府~~府~~と~~公~~明~~明~~党~~党~~が~~お~~く~~る~~平~~平~~穩~~穩~~に~~お~~お~~く~~る~~

す~~が~~、~~国~~国~~会~~会~~の~~議~~事~~事~~が~~お~~く~~る、~~決~~決~~断~~断~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に。
大~~体~~体: 事~~件~~件~~の~~科~~学~~学~~的~~的~~な~~二~~、~~決~~断~~断~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に

撤~~去~~去~~が~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に~~決~~決~~断~~断~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に。
屋~~長~~長~~政~~政~~士~~士~~席~~席~~に~~は~~実~~実~~施~~施~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に

お~~お~~く~~る~~、~~先~~先~~に~~に~~敵~~敵~~軍~~軍~~に~~お~~し~~ら~~せ~~る。
敵~~軍~~軍: 二~~の~~議~~案~~案~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に

と~~す~~る~~に~~お~~き~~に、~~決~~決~~断~~断~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に~~決~~決~~断~~断~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に
て~~お~~お~~く~~る~~に~~お~~き~~に、~~其~~其~~の~~時~~期~~期~~は~~13日~~の~~内~~に~~決~~断~~断~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に

と~~す~~る、12月~~は~~は~~決~~決~~断~~断~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に。
(大~~体~~体~~の~~内~~容~~容~~を~~お~~き~~に) 敵~~軍~~軍~~の~~議~~案~~案~~は~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に。
・~~国~~国~~民~~民~~に~~お~~し~~ら~~せ~~る~~に~~お~~き~~に~~決~~決~~断~~断~~を~~お~~こ~~す~~に~~お~~き~~に

1969. 11. 11

(1969. 11. 11)

SECRET

The President looks forward to his meeting with the Prime Minister in mid-November and believes that their review of common problems will be valuable to both governments. The President believes that a full discussion regarding Okinawa reversion is particularly desirable.

The draft joint communique reflects a high degree of common understanding on the conventional use of bases in Okinawa and Japan following reversion. The President will want to confirm these important understandings with the Prime Minister.

The issue of continued nuclear storage after reversion is a major one which the President will want to explore carefully with the Prime Minister. We want the Prime Minister to know that we appreciate and sympathize with his political problems in Japan. At the same time, nuclear storage is a vital element in our strategic strength in the area, and as exemplified by the Byrd "sense of the Senate" Resolution any proposal to limit that storage poses serious strategic and political issues for the U. S. It is, of course, our desire to work out the best possible arrangements to meet the problems faced by both governments. Thus, the President does not want to make any decision on this matter so important to both himself and the Prime Minister until they can discuss it together. In such a discussion and in making his decision, it would be helpful if the Prime Minister would be prepared to discuss this issue in depth with the President and to explore possible solutions which would meet both countries' requirements.

In addition to the above issues directly connected with reversion, the President will want to talk to the Prime Minister about bilateral economic issues that are of deep concern in the U. S. These particularly involve the problem of the slow pace in the reduction of Japanese import (and investment) restrictions and our inability thus far to arrive at any understanding or means to handle the problem of Japanese exports of

SECRET

SECRET

- 2 -

synthetic textiles and woollens to the U. S. At this time the textile issue is of particular concern to the President. These matters present serious economic and political issues for the U. S. The President hopes that he and the Prime Minister can reach agreement, at least in principle, on an arrangement that will provide comprehensive limitations reasonable to both parties on exports of wool and synthetic products to the U. S.

SECRET

極 秘

アソボ局長

分室

ヤビ(秘)

経済局長

ヤビ(秘) 抄

佐藤総理、米大使公邸 (日米経済問題)

44. 11. 11

米北一表記

有 11日午後の本公談での経済部分次のとおり

(本席: 総理、外相大臣、アソボ局長、ヤビ(秘) 石原守社(秘))

小杉秘書長、マ代-大臣、ス+19=公使、マク=米書記官

大臣 (本日の経済の巻の上より - 関係部分の文書に)

その新添 - とは以下の如くであった)

次の問題は日米間の経済問題である。大體從

4=の矢口と、総理と御信しにたい意向である

マキ伊と、ス+19=の上記の意以下を併せて

と、総理の公邸にて話が出たが、日米

の輸入制限撤廃の促進と、織造の対米
輸入問題の解決が特に重要であるが、

大體從はとて織造問題は重要である。大體
從とは日米総理との間で少くとも原則的

に合意し、毛織品と化織品が対米
輸出に及ぶ日米双方に及ぶリ-ス+19=な

COMPREHENSIVE RESTRICTIONS ができると
いいたいと希望した。 (注: 通訳者か

COMPREHENSIVE の和訳に当り、アソボは出た
右の方の - 外相大臣の如き注意)

以上のことはアソボの前述の米側との発言 -
現然不消況である。 - と同じであった。 - 45

後日、米3日米首脳公談が、14日、15日
長談史の73、10-11-20の如く行われた。

期行(211) 面白い = 211, 3(の上) 後進性
沖能通達は7112 程程の 2111, 2112 (2111, 2112)

内題の解決は期行(211) 2の内題4極め
て重要である。沖能(加)はととある(2112)

大内題 (あり得る) (2111, 2112)

総理: (他の奇言の) 211 - 211の内題4
識識である。私を便重にやらぬ(211)

と思(211) 211, 唯々の大役の御話(211)
211 - 211 211 211 211 211 211 211

と思(211) 211 211 211 211 211 211
211 211 211 211 211 211 211

211 211 211 211 211 211 211
211 211 211 211 211 211 211

大役: 211 211 211 211 211 211 211

総理: 面白い, 211 211 211 211 211 211

大役: 内題の強進性(211) 211 211 211 211
の探知(211) 211 211 211 211 211

211, 他の産業人はもつと解(211) 211
211 211 211 211 211 211 211

ポイント(211) 211 211 211 211 211
- 211 211 211 211 211 211 211

(211) 211 211 211 211 211 211
211 211 211 211 211 211 211

211 211 211 211 211 211 211
211 211 211 211 211 211 211

211 211 211 211 211 211 211
211 211 211 211 211 211 211

大役: 211 211 211 211 211 211 211

総理：マヤ-大臣には中に在るべき点がある
総務のスタン高務長官の月日の件

如く、内題加 = 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

大臣：私の中に在るべき点 ^{御指摘の} スタン高務長官の
降任の着任前であり、その旨を

知らぬが、自らに決断した
事柄と在るべきである。

総理：福田 - 浅田のワントー行は当初の
意向と異なり、彼の報告によれば

内題を（理解）するが、大臣
自身も、=と在るか（在るか）。

大臣：この点の件は、=と在るか
(以下、内題に決断)

総理：(内題に決断後) もう一。

至請内題に在るか、(2=2=1) 相
象の在るか。

(以下、内題に決断)

極秘

(1184124-12217) 深

SECRET

(1184)

In addition to the above issues directly connected with reversion, the President will want to talk to the Prime Minister about bilateral economic issues that are of deep concern in the U. S. These particularly involve the problem of the slow pace in the reduction of Japanese import (and investment) restrictions and our inability thus far to arrive at any understanding or means to handle the problem of Japanese exports of

synthetic textiles and wools to the U. S. At this time the textile issue is of particular concern to the President. These matters present serious economic and political issues for the U. S. The President hopes that he and the Prime Minister can reach agreement, at least in principle, on an arrangement that will provide comprehensive limitations reasonable to both parties on exports of wool and synthetic products to the U. S.